

1組 対話的な学び 2組 主体的な学び

対 象：第5学年1組 36名

第5学年2組 36名

授業者：1組

2組

1 単元名

We Can! 1 「Unit 6 I want to go to Italy.」

2 児童観

アンケートの結果、全設問で、数値が上昇している。「話すこと」については、毎時間繰り返し会話の練習をしたり、話す時間をしっかりと確保したりすることで、獲得させたい表現を定着させられた。また既習の定着につながり、それが自信につながっていると考えられる。また、伝えることに喜びを感じ、もっと伝えてみたい、話してみたいという意欲にもつながっていることがうかがえる。こうしたことが上昇の要因と考えられる。また、既習の会話を応用することで、会話の幅が広がることに気付き、英語でコミュニケーションをとることの喜びを感じていた。「書くこと」についても上昇が認められたが、他の設問と比べると、数値が低く、改善の余地がある。話すことと同様に、授業の中で繰り返し書く活動を取り入れ、定着を図り、意欲向上につなげたい。

3 研究主題にせまるために

(1) 主体的な学び

本単元では、「大人になったとき、クラスみんなで海外旅行をするのにどこの国が良いか」という視点をもたせ、単元の中に必然性をもたせることにまず重点をおいた。また、なぜその国が良いのかという根拠となるもの（食べ物や文化等）を調べ、発表する活動を取り入れ、学びの必然性、児童の興味・関心を惹きつける。

(2) 対話的な学び

興味・関心を惹きつけることにより、「何を調べるか」「どのように伝えるか」など児童の主体性を引き出し、学びに向かう姿勢につながると考える。さらに、発表への練習を通して、必要なスク립ト（台本）以外にどのような言葉が必要かを考えさせることで、対話的な学びへとつなぎたい。

(3) 深い学び

どのような既習事項が活用できそうか考えることを促し、実際に使う機会を設ける。また、既習事項を定着させるために、毎時間、Warming up でペアやグループで練習をし、友達の表現の良いところや取り入れられそうなことを自らの学びに生かし、表現の幅を広げるようにする。

4 単元の指導目標

- ・国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・行きたい国や地域について理由や根拠を含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力)
- ・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 言語材料

(1) 表現(児童の発話)

Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why? I want to [see/go to/visit] (the Colosseum)
I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil). You can ~. It's [exciting/delicious/beautiful/fun] .

(2) 語彙(児童が使う語彙)

- ・国 America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK)
- ・既習 動作, 状態, 気持ち, 国, 飲食物

6 該当する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理し、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

7 単元の評価規準

知識・技能	① I want to go to~を使って、行きたい国を紹介することができる。 ② 単語の綴りを見て、書き写すことができる。
思考・判断・表現	① 発表に向けて、話型以外の発表の仕方について考えることができる。 ② 話型を参考にした発表を通して、考えを伝え合うことができる。 ③ 音声で慣れ親しんだ表現を推測しながら聞くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	① 学習に興味をもち、主体的に学びに向かうことができる。 ② 学習に見通しをもち、計画的に学習することができる。

8 単元指導計画（全8時間）

時	目標（◆）と主な活動（○），主題にせまるための手立て（◎）	評価
1	◆世界遺産や地域の特色について気付く。 ○「Greeting」挨拶・調子・天気・曜日・日にちを確認する。 ○「Small Talk」既習事項の確認。応用できそうなことの確認。 ○「Warming-up」単元の学習の流れを知る。 ○「Activity1」単元終末の活動を知る。 ○「Activity2」“Let's Read and Write①”をする。 ○「Reflection・Closing」活動内容を振り返り、カードに記入し、全体で共有する。	主-① 知-②
2	◆おすすめの国を聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ○「Activity1」ポインティングゲームをする。 （担任の言う国名や食べ物の名前を聞いて、写真を指し示すゲーム） ○「Activity2」ペアでお勧めの国を伝え合う。相手を替えて繰り返す。 “Let's Read and Write②”をする。	知-② 思-③
3	◆自分のお勧めの国とその理由の英語の言い方に慣れ親しむ。 ○「Activity1」映像資料を見て、エジプトやアメリカの有名な食べ物、場所、建物の特徴や魅力を伝える際の英語の言い方を知る。 ○「Activity2」ペアで、自分のお勧めの国を尋ねたり答えたりする。ペアを替えて繰り返す。	思-③ 主-②
4	◆自分のお勧めの国について紹介することを整理する。 ○「Activity1」デジタル教材を視聴しながら“You can ～.”の言い方を練習する。映像資料からわかったことを書き、発表する。 ○「Activity2」You can see / eat / buy / drink ～.“などの表現を使って紹介する。	思-①
5 2組	◆自分のお勧めの国を紹介し合う表現になれる。 ※9の本時を参照。 ◎3-（1）主体的な学び	思-② 主-①
6	◆海外旅行フェアで紹介する自分のお勧めの国について整理する。 ○「Activity1」映像資料を視聴し、分かったことを伝える。 ○「Activity2」旅行フェアに向けて整理した内容を基に練習する。	
(総合)	◆パソコンを使って自分のお勧めする国を調べる。	
7	◆発表でメモした単語を辞書で調べ、書き取りの練習をすることができる。 ○「Activity1」ペアで自分のお勧めの国とその理由を伝え合う。 ○「Activity2」相手意識をもったお勧めの仕方について、ペアで助言をし合う。 ◎3-（3）主体的な学び	思-②
8 1組	◆海外旅行フェアで自分のお勧めの国を紹介しよう。 ※9の本時を参照。 ◎3-（2）主体的な学び	思-② 知-②

9 本時（全8時間の8時間目）

1 組

(1) 本時の目標

他者に配慮しながら、お勧めの国について説明したり、自分の考えを整理
伝え合ったりしようとする。

対話的な学び

(2) 本時の展開

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	☆英語を学習する際に意識すべき BEST(Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 2分	○児童同士で既習の表現を使って 質問したりたずねあったりする。 △質問が途切れてしまう。	☆既習事項の確認をする。細かいところ まで正しく言えているかを確認する。 ☆質問に詰まったら掲示物を確認する よう促す。	
Small Talk 2分	○本時で扱う表現を交えながら、 めあてにつなげる。	※Presentation 1. 2のやり取りの例 A: Hello. B: Hello A: Where do you want to go? B: I want to go to ~ A: Oh, I see. You want to go to ~. Why? B: I want to [see/eat/visit/buy] ~. A: It's [nice/great/good] . A: Let's go to Italy! A: You can see the Colosseum. B: What's that? A: This is the Colosseum. B: Oh, I see. It's big! A: Yes. It's exciting. A: Do you [like/know] ~? B: Yes, I do. [No, I don't] I like ~. A: You can eat~.	
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 行ってみたい国を見つけよう。 ○本時のながれを確認する。		
① 準備をする。 ② Aグループが発表の準備をする。 ③ Aグループが発表を行う。 ④ Aグループは発表について、Bグループは発表を聞くことについて の小リフレクションを行い。全体で共有する。 ⑤ Bグループが発表の準備をする。 ⑥ Bグループが発表を行う。 ⑦ リフレクションを行う。			
Presentation 1 13分	○グループごとに分かれ、発表の準備 をする。(Aグループ) ○前半のグループの発表をする。 △自信をもって話せない。	☆HRTが助言をする。ペアの友達と 少し練習をする時間を設け、安心さ せる。	
Reflection 1 4分	○Aグループは発表について、Bグ ループは発表を聞くことについ てのリフレクションを行い、全体 で共有する。 △何を修正すればよいか分からな い。	☆リフレクションを共有し、Bグルー プの発表に生かすよう声をかける。 ☆修正点を洗い出し調整したり、良か ったりしたことを価値づけたりす る。 ☆HRTから修正点を伝える。	・ ホワイト ボード
Presentation 2 13分	○Bグループの発表をするための準備 をする。 ○グループごとに分かれ、発表の準備 をする。(後半グループ)	☆HRTが助言をする。ペアの友達と 少し練習をする時間を設け、安心さ せる。	・ ホワイト ボード 思-②
Reflection 2 6分	○本時のリフレクションを行う。	☆リフレクションカードの記入事項を 確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		

9 本時（全8時間の5時間目）

(1) 本時の目標

自分のお勧めの国を紹介し合う表現ができる。

(2) 本時の展開

2組

主体的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	☆英語を学習する際に意識すべき BEST(Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 3分	○児童同士で既習の表現を使って 質問したりたずねあったりする。 △質問が途切れてしまう。	☆既習事項の確認をする。細かいところまで正しく言えているかを確認する。 ☆質問に詰まったら掲示物を確認するよう促す。	
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 おすすめの色を紹介し合えるよう、表現になれよう。		
Activity 1 16分	○ブラジルで有名なものを聞き取る。 ○デジタル教材を視聴しながら理解する。 ○カードを使って「メモリー・ゲーム」をする。 △自信をもって話せない。	※やり取りの例 A : I can see Iguazu Fall. B : You can see Iguazu Fall. I can see the carnival. C : You can see Iguazu Fall. You can see the carnival. I can see coffee farms. ☆HRTが助言をする。ペアの友達と少し練習をする時間を設ける。	デジタル教材 カード9セット 主-①
Activity 2 16分	○自分の行ってみたい国をテキストから選び, "You can ~."の表現を使って表現する。 △自信をもって話せない。	※やり取りの例 You can eat ~.It's delicious. You can see ~.It's wonderful. You can buy ~.It's beautiful. ☆HRTが助言をする。ペアの友達と少し練習をする時間を設ける。	思-②
Reflection 2 5分	○本時のリフレクションを行う。	☆リフレクションカードの記入事項を確認する。 ☆数名の児童の感想を聞く。	
Closing 1分	○あいさつをする。		